

記憶から消えつつある、あの事故のこと。
もう忘れよう。無かったことにしよう。。。
・・・それでいいのですか？



シンポジウム“復興の人間科学 2022” 『FUKUSHIMAは終わっていない！』



ZOOM参加の方は
こちらから申し込み
<https://wima.jp/>

[プロローグ] 東京電力11年の変節と埼玉訴訟の経緯 13:30~13:55
原発事故責任追及訴訟埼玉弁護団

[第1部] 原発避難者調査報告 13:55~14:25

早稲田大学災害復興医療人類学研究所

研究所員 金智慧 (人間科学学術院助手, 臨床心理士, 医療人類学)

招聘研究員 平田修三 (仙台青葉学院短期大学講師, 発達心理学・児童福祉学)

招聘研究員 岩垣穂大 (日本女子大学人間社会学部助教, 社会福祉士, 精神保健福祉士)

[第2部] 原告との対話 14:25~15:25

長期避難、帰還、移住、区域外、それぞれに分断が深まり長きにわたっての苦悩の実情を専門家が
お聴きします。

<コーディネーター>

猪股正 (震災支援ネットワーク埼玉SSN代表, 弁護士)

[第3部] 講演 被害者バッシングをどう乗り越える? 15:40~16:25

~差別、偏見に今後どう対処するか~

明戸隆浩 (立教大学社会学部メディア社会学科助教)

<コメンテーター>

辻内琢也 (早稲田大学人間科学学術院教授, 早稲田大学災害復興医療人類学研究所所長)

[第4部] FUKUSHIMAは終わらない 若者の声 16:25~16:40

原発事故発生時に小学生で、現在大学生となった避難者の声

総評 16:40~17:00 一人ひとりの被害者の経験を日本の原発問題、日本の歴史的
問題に”自分ごととして”結びつけて考える

除本理史 大阪市立大学大学院教授

海渡雄一 弁護士 脱原発弁護団全国連絡会共同代表

FUKUSHIMAは終わらない リレースピーチ 17:00~17:30

全国の原発被災当事者、支援団体、弁護団

2022年3月6日 (日) 13:30~17:30 (無料・入場自由)
於: 早稲田大学 国際会議場 井深記念ホール
Zoom同時開催 (zoom参加の場合ネット申し込み制)

◆主催: 早稲田大学災害復興医療人類学研究所 (WIMA)

科研費基盤研究(B): 原発事故被災者の移住・帰還・避難継続における新たな居住福祉に関する人間科学的研究

◆共催: 震災支援ネットワーク埼玉 (SSN), 福島原発さいたま訴訟を支援する会 (福彩支援)

◆問合せ先 (WIMA研究所事務局: 辻内研究室内): 〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15

(シンポジウム事務局) E-mail: shinsai-wima@list.waseda.jp

(震災支援ネットワーク埼玉SSN) E-mail: desk@431279.com